

令和3年度江田島市行財政改革審議会 要点録（意見概要等）

日 時	令和4年3月28日（月） 13時25分～14時35分			
場 所	江田島市役所4階403会議室			
出 欠 (委員)	氏 名	役 職 等	備 考	出欠
	上松 英邦	江田島市議会総務文教常任委員会副委員長		出席
	内村 浩	中国化薬株式会社江田島工場取締役工場長		欠席
	宇根 民子	江田島市女性会連合会会長		出席
	奥田 修三	江田島市企画部長		出席
	上平 毅	広島県地域政策局市町行財政課長		欠席
	小跡 孝廣	江田島市自治会連合会会長		出席
	堂野崎 平	江田島市社会福祉協議会会長		出席
	長光 正樹	広島銀行大柿支店長		出席
	平川 博之	江田島市議会産業厚生常任委員会副委員長		出席
	平田 圭司	江田島市商工会会長		出席
	三島 雅司	江田島市教育委員会教育長職務代理者		出席
	山本 修司	江田島市総務部長		出席
(事務局)	明岳市長，土手副市長 越野総務課長，保手濱財政課長，平井主幹，山下専門員			
<p>次 第</p> <p>1 開 会</p> <p>2 委員紹介</p> <p>3 議 題</p> <p> (1) 江田島市行財政経営計画の取組状況について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>				

1 開 会	
事 務 局	<p>委員の皆様、本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます ございます。</p> <p>御案内の時刻よりも少し早いのですが、皆様お揃いですので、ただ今より、令 和3年度江田島市行財政改革審議会を開会いたします。</p> <p>なお、本日、内村委員と上平（かんびら）委員から、欠席の御連絡をいただい ております。</p> <p>委員12名の半数以上が出席のため、江田島市行財政改革審議会条例第5条 第2項の規定により、本日の会議が成立しますことを報告させていただきます。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、明岳市長が皆様に御挨拶申し上げます。</p>
市 長	<p>皆さん、こんにちは。江田島市長の明岳周作でございます。</p> <p>本日は大変お忙しい中、堂野崎会長をはじめとする審議会の委員の皆様にお かれましては、御出席を賜りましたこと、心から感謝を申し上げます。各委員の 皆様は、各界のリーダーとして、江田島市政への御支援、御協力を賜っておりま すこと、この場をお借りして、厚く厚く御礼を申し上げたいと思います。</p> <p>さて、この行財改革審議会、本市の行財政の合理化と効率化を推進するため に、条例で設置いたしました大変重要な附属機関でございます。行政組織や職員 定数、給与、事務事業全般に関することなど、幅広く皆様の御意見を賜るよう になっております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>一昨年になりますけれども、令和2年3月に、審議会の答申をいただきまして 「第4次江田島市行財政改革大綱」を策定いたしました。それに基づきまして、 その具体的な計画となります、第3次江田島市財政計画と第4次江田島市行財 政改革実施計画、これを一体といたしまして、昨年2月に「行財政経営計画」 として、職員の意識改革に取り組み、事業につきましてもこれから徹底するとい うことを、皆様方に説明させていただきました。</p> <p>この間、様々なことがございまして、思うように事業が進展していないという ことは、後ほど事務局から説明させていただきますけれども、皆様方の御意見を 基に作った大綱に基づき、江田島市も具体的に、水道事業につきましても県の企 業団への参加により、大きな経費の削減ができるようになります。海底の送水管 トンネルを、県の事業で具体化できるということになりました。これについては 10億円程度の事業費が、市の事業として行わなくてもいいということござ いまして、大きな取組の一つであります。それから、下水道事業の使用料の改定 につきましても、答申をいただいたことによって実現しております。</p> <p>更なる行財政改革の推進に向けて、安定的な、持続的な江田島市を作れるよう に、これからも頑張っていきたいと思っております。</p> <p>本日の会議は、皆様方によって策定いたしました「江田島市行財政経営計画」 の令和3年度の進捗状況、先ほど申し上げました事務事業総点検、これらについ ての報告と併せて、委員の皆様方から忌憚のない御意見を賜りまして、次なる事 業へ取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたし ます。本日は誠にありがとうございます。</p>

事務局	市長は他の公務のため、ここで退席をさせていただきます。どうぞ御了承をお願いいたします。 (市長退席)
2 委員紹介	
事務局	それでは、次第2、委員紹介をさせていただきます。 初めに、委員の皆様を紹介させていただき、続いて事務局を紹介いたします。 (委員及び事務局紹介)
3 議題	
事務局	これより審議に入りたいと思います。 ここからの進行は、審議会条例第4条第2項の規定によりまして、堂野崎会長をお願いしたいと思います。堂野崎会長、よろしく願いいたします。
会長	堂野崎でございます。本審議会が円滑に進みますよう、御協力お願いしたいと思います。 この審議会も、コロナの影響等により、前回は去年の1月で、なかなか開かないので、意見を言うといってもなかなか難しいと思うのですが、こういった会議を開いたという既成事実を作るための会議ではなく、先ほど市長さんも言われましたように重要な会議だと思っておりますので、日頃から思っておられるようなことについて、忌憚のない御意見をいただきたいと思っております。
(1) 江田島市行財政経営計画の取組状況について	
会長	それでは早速、議題に入っていきたいと思っております。 議題1、江田島市行財政経営計画の取組状況について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	(資料により説明)
会長	今、事務局から説明が終わりましたが、御意見・御質問等がございましたら、よろしく願いいたします。
委員	14ページ「財政運営健全化のための取組」の取組事項で、「経営的経費の見直し」のところ、「各種補助金の見直し」とありますが、そこで「ゼロベースで必要性を検証し、定期的な見直しを実施」とあります。 確か令和3年度に補助金の団体が200近くあるのではないかと思うのですが、それで補助金を1割削減ということで説明を受けて、1割削減したところもあると思うのですが、まず全部の補助団体が1割削減したのかどうかを教えてください。それと、補助金の団体が今どれくらいあるかも教えてもらえますか。
事務局	補助金団体は200ほどございます。令和4年度の予算編成におきまして、一律カットは行っておりません。それぞれの団体で、削減が可能などころについては削減していますが、全体として方針が出せなかったため、こちらについては令和4年度以降にやっっていこうと思っております。
委員	補助金の見直しを今からされると思うのですが、市役所の担当が3年くらいで異動になりますよね。補助金団体の事務局とコミュニケーションを取りながら、1年を通して何回かは事務局と話をしないといけないと思っております。

	<p>当初の計画を持ってきたとき、年度末に報告書を持ってきたとき、2回くらい顔を見る感じであれば、なかなかその中身が分からないところがありますし、人間関係もこまめに接して、「市の財政状況がこうだから、見直しについても協力してもらえませんか」という感じで持っていけば、まだ納得する部分もあると思うのですが、いきなり「とにかく1割カット」とか言われたら、「自分たちも一生懸命しているのにどうなっているのか」という感覚があると思うので、担当課の人と補助団体の事務局の人との連絡を密に取っていただきたい。</p> <p>市の中でもそれぞれの横の連絡も大事ですが、やはり市民・団体の人にも今の状況を分かってもらうのが大事だと思うので、その辺をよろしくお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>18ページに個別の取組ということで、「補助金の見直し」を1つの項目として掲げております。令和3年度の取組状況のところに「当初、事務事業総点検の中で、補助制度の見直しを行うこととしていたが、総点検の方法を変更したため、全庁統一して実施することはできなかった。」この部分が、委員に御指摘いただいたところです。</p> <p>200ほどある団体のうち、担当課が予算編成の段階で、団体の御理解をいただきながら10パーセントカットさせていただいた団体もございます。しかしながら、財政課において、全庁統一しての見直しの方針という大きな方針を掲げることができなかったために、庁内連携もうまくいかず、10パーセントカットできたところもありますが、まだ話し合いの緒についていない団体もあります。</p> <p>25ページになりますが、17番目の項目で「地域コミュニティの強化」という目標を掲げております。この一番上の○には「地域の各種団体が連携した「まちづくり協議会」の活動を促進し、協働のまちづくりを推進します。」ということで、協働のまちづくりを推進するというのは、本市ができました平成16年からずっと大きな目標に掲げているものです。</p> <p>今、自治会・女性会・老人クラブの皆様にも御協力いただき、ほぼ全部の地域で「まちづくり協議会」が設置できました。これからは協働のまちづくりを推進していくために、まちづくり協議会と自治会・女性会・老人クラブ等の団体をどういうふうな編成にして運営していただくのが良いのか、そのときに市としてどういうサポートができるのか、そういったまちづくり協議会の運営体制の支援と強化ということと、補助金見直しが表裏一体となってまいりますので、この辺りについては委員に御指摘いただいたように、事務局を担当している地域の皆様方と、またその事務局の皆様と連携を図るそれぞれの所管部署の担当者が、緊密に連携を図って、どのような支援が市としてできるのか、そのときに補助金のあり方としてはどういうふうにあるべきなのか、こういったところを、各種団体の長でありますとか、実際に事務を担っていただいている皆様と意見交換を緊密に図りながら、地域コミュニティの強化と補助金の見直しというところを、表裏一体の取組として、来年度はぜひ進めていきたいと考えています。</p> <p>その際には、ここにお集まりの各界のリーダーの皆様にも、御意見をいただく機会を設けていきたいと考えていますので、その場でまた忌憚のない御意見をいただければと思っています。</p>

委員	<p>合併当初、2年目か3年目だったと思うのですが、補助金を一律8パーセントカットということがあったと思うのですが、多額の補助金をいただいている団体が一律8パーセントカットされると、人件費が出なくなるんですね。そういったこともあるので、配慮していただいて、それぞれ先ほど言われたように、話をしながらやっていただきたいと思います。</p> <p>それと、敬老会への補助金については、今の時代にそぐわないのではないかとと思うので、やめたらと思います。福祉関係で他に必要な事業はたくさんあります。飲み食いをしたりといった事業は、市の補助金を出して敬老会をすとか、敬老会ができないから品物を配るとか、そういったことはもう止めた方がいいのではないかと思いますので、市として真剣に協議してもらいたいと思います。</p>
委員	<p>令和2年度以降、コロナ感染症により、我々の生活に非常に大変な影響が出ている中で、感染症対策事業、様々な事業があったと思います。ワクチン接種であったり、定額給付であったり、地域経済に対してのコロナ感染症対策として、国が様々なメニューを出してきており、国・県・市が一体となって取り組んでいただいております。大変な負担を市の皆様もされていらっしゃるのではないかと思います。</p> <p>そうした中、こうした見直しを図られていきながらということで、様々な対策を講じていながら、こういう形で行政の健全化について御議論いただいて進めていただいていることに、深く敬意を表したいと思います。</p> <p>質問ですが、17ページ、以前から質問させていただいているところですが、PDCAを回されると書いてあります。この回し方について、もう少し具体的に説明いただければと思います。</p>
事務局	<p>このたび、事務事業総点検の方でも、初めて成果指標を定めるということを目指に取り組んできました。成果指標も最終目標だけではなくて、毎年どのように取り組んでいくか、活動指標から成果指標といったことで定めています。その成果指標に基づいて毎年必ずやっていくのは、予算編成の時点で去年までの成果がどうだったのか、では今年はどう取り組んだのか、その成果が達成できているのかできていないのか、といったことを、これはPDCAのCになりますが、チェックをしながら、来年度の事業をどう進めていくか、進んでいなければやり方を変えなければならないとか、着実に成果を上げているのであれば来年度引き続きやっていきたいと思いますとか、そういったことでPDCAを回していけるように考えています。</p>
委員	<p>いわゆる評価をする側とされる側のところで、もう少しお聞かせいただければと思います。</p>
事務局	<p>これまで「行政評価」と言えば「外部評価」といったこともあったと思うのですが、成果指標もまだ定めたことがなかったということもありますので、まずは中できちんと評価できる体制をとっていかうと思っています。</p> <p>まずは事業課がきちんと評価する、その評価を出してきたものについて財政課、もっと大きな事業というか、施策の段階になりますと、企画振興課とも連携しながら、違う課の目をもってチェックをしていきたいと考えています。</p>

委員	<p>以前から話しておりますが、外部評価も入れていかないと、内部だけの評価だと、市民の皆様が理解するとき、きちんと評価していると言われるが、いや自分たちだけで評価していますよということになる可能性が出てきます。</p> <p>そういうふうには指標も作られて、指標に基づいてきちんと評価していこうではないかということですが、可能な限り外部の専門的な知識を持っておられる方に入っていただいて、同じ指標の中で評価をいただく形にしていいただければ、市民の皆様にも理解していただきやすいのではないかと思います。</p>
委員	<p>25ページの17番「地域コミュニティの強化」ということで、その中にまちづくり協議会という文章が出てくるのですが、このまちづくり協議会そのものの、ものの考え方は、皆さん知っておられると思うのですが、江田島市が合併してから、逐次小学校区単位で交流プラザを設置されておられます。</p> <p>このことについて、この江田島市の中で一部、その小学校区単位でまちづくり協議会を設置できない地域があるのは御存じですか。そのために、交流プラザを作る作らないという話も、その地域には全く耳に入ってきません。</p> <p>他所の地域は旧小学校区単位で交流プラザを作っていますので、年度ごとに新しい交流プラザを見るわけですね。我々のところはどうなるのだろうか、心配する声もあります。</p> <p>ましてや人口減少で、役員になる人材はものすごく減ってきている。そういうような意味合いからして、ぜひとも小学校区単位でできていない地域について、行政主導で前に進めていただけるようなものの考え方で、改革を進めていただければと思っています。</p> <p>そういった地域の不安といいますか、課題というものが、よく耳に入ってきます。是非ともこのことについては前向きに御検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>地域によって取組が様々ということは承知しており、それで良いのかと言われれば、それでは良くないとは思っています。</p> <p>このロードマップにも掲げていますが、来年度につきましては地域活動に係る実態把握、整理を全庁的にやっていきたいと考えています。</p> <p>そういった実情をきちんと把握した上で、またモデルとなるような事業については、市職員が一緒になって取り組んでいき、その後は他の地域にも広げていただけるように。</p> <p>補助金も今のままではなくて、補助金の見直しは削減することだけが目的ではなくて、先ほどの事務事業総点検のときも言いましたけれども、きちんと見直した上で、必要なものを必要なところにきちんとつけていけるようにと考えていますので、補助金とセットで取組を進めてまいりたいと考えています。</p>
委員	<p>行財政改革に限らず、行政を進めていく、あるいは会社を経営していく中で一番大切なのは、職員の意識であろうと思います。</p> <p>先ほどから意識改革という言葉が何度か出てきましたが、実際この1年間、平井さんが来られて最初の時に意識改革ということを言われたと思うのですが、実際どんな状況なのかということと、将来的な研修のあり方というのを具体的に教えていただければと思います。</p>

事務局	<p>言われるとおり、行政を進めていく上で大切なものの一つが、職員の資質の部分であったり、知識の部分であったりということだと思っています。</p> <p>御質問いただいた職員研修のことですが、職員研修についてはこれまでも、当たり前のところではあるのですが、コンプライアンス・待遇・人権、この三つを基本的なテーマとして、三本柱として実施しています。</p> <p>今回の資料の中にもありますが、人事評価というものをやっています。その中で、待遇でありますとか、職務遂行能力に問題があるような職員につきましては、それぞれ課題解決につながるような研修のメニューを受けさせているところですよ。</p> <p>平井主幹が来て、職員の意識も随分変わったと思っています。先ほど説明させていただいたように、成果指標というところが、なかなかこれまで職員がそういった考えを持ち合わせていない。そもそもなぜこの事業をやるのかということについて、随分意識付けはできたものと思っています。</p> <p>今後についても、職員研修は本当に大切なものであると考えていますので、引き続き取り組んでまいりたいと思います。</p>
委員	<p>別紙2「令和3年度事務事業総点検の実施状況について」3(2)の22番、大柿高等学校サポート事業の具体的な反映事項が「縮小」となっています。</p> <p>ある会議で、大柿高校が一時期廃校の危機にありながら、いろんなことに取り組んで、今は生徒が増えているという話を聞いて、いろいろ取り組まれていて素晴らしいことだと思ったのですが、見直しで縮小ということは、もう継続的に生徒が来る仕組みが出来上がったから縮小するということなのか、この内容を教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>具体的な反映事項のところに書いてありますが、魅力化コーディネーターという方を配置して、ホームページの改善や外部への発信、中の取組の改革といったことをやってきたのですが、生徒も増えてきたということもあり、学校の中でも一定程度できるようになったのではないかとということで、このコーディネーターの部分については、配置することを休止させていただいたということです。</p> <p>他の事業については継続してやっていこうと考えております。</p>
委員	<p>市に高校がないというのは非常に大きいことで、やはり活気が全然違うと思うので、是非とも高校が存続するように、引き続きお願いできたらと思います。</p>
委員	<p>市役所で、事務事業の見直しというのがあるのですが、どこの分野に入るのかわかりませんが、今、働き方改革ということで、公務員でも一般の会社でも、通勤手当や扶養手当とか住居手当といったものを、正職員も正職員ではない職員も、一律に出す必要があると言われていていると思います。</p> <p>そういった検討も今からされると思いますが、江田島市の場合は、広島市内から通っている人もいますよね。呉からもいます。そういった中で、例えば通勤手当で限度額を少し低く設定するとか、扶養手当や住居手当はどうなるかわかりませんが、市外から通う人には住居手当は出さないという町があると聞いてい</p>

	<p>ます。</p> <p>通勤手当以外は廃止していくような状況で進んでいるような状況だと思うのですが、その削減して、職員が不利になってくることもあると思いますが、人事考課をしているので、そういった手当を厚くするとか、メリハリをつけるというか、職員が自分の能力に関係なく手当が支給されるということがないように、その方が職員の意欲が上がるのかなと思うのですが、そういうことも将来的に検討していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>我々の方では基本的に、非正規といいますか、会計年度任用職員につきましては、休暇制度であるとか、手当についても改善を図っているところです。正規職員も含め、制度については、国に準拠した形で進めているのが実情です。</p> <p>市外から通っている職員の手当については、特に差を設けていません。我々にとって一番大切なことは、どこから通勤しているかというよりも、市の業務をいかにやってくれるかというところの方が、一番大切な部分だと思っています。</p> <p>職員採用試験について、応募者が随分減ってきています。例えば平成25年度には100人余りの応募がありましたが、今年度で言いますと、50人に満たないという状況になっています。優秀な職員を、江田島市内に限らず、江田島市のために働いてくれる職員を採用したいと考えています。</p> <p>手当については、人事評価制度でこれを勤勉手当、ボーナスの一部分ですが、こちらの方へ反映していく自治体も、県内でも半数を超えてきていますので、そこについては宿題であると考えています。</p>
会長	<p>他にございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>それではないようですので、御意見・御質問については終わりたいと思います。</p> <p>来年度で3年目になります。事務事業の見直しとか、いろいろな見直しや総点検をされていると思いますが、できるだけ早く、1年あとに延ばすのではなく、1年1年少しでも早く点検をしながら、経費の削減をするところはできるだけ早く。</p> <p>それと併せて、行財政改革は経費を削減することだけが使命ではないと思いますので、新しい事業を始めたり、前回もそんな話をしたと思うのですが、江田島市としてこれは他所に負けないという事業を始めるとか、そういったことも、この経営改革の中に、是非やっていただければありがたいと思います。</p> <p>御意見がないようですので、本日の議題は終わりたいと思います。</p>
4 その他	
会長	<p>次にその他ですが、何かありますか。</p> <p>(特になし)</p> <p>よろしいですか。それでは皆様の御協力を持ちまして、円滑に議事進行ができました。ありがとうございました。</p> <p>それでは司会を事務局にお返しをいたします。</p>
事務局	<p>堂野崎会長、ありがとうございました。</p>

5 閉 会	
事 務 局	それでは閉会に当たりまして、土手副市長から御挨拶を申し上げます。
副 市 長	<p>委員の皆様方には、本日はお忙しい中、御出席いただきまして、また、たくさんの貴重な御意見をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>ここでお詫びを申し上げたいのですが、この審議会の中で皆様の御意見をお聞きしていますが、そうした中でなかなか行革の取組が、思うように進んでいないのが現実でございます。</p> <p>今日、皆様から貴重な御意見をいただいております。そういった部分をしっかり事務局としても市としても真摯に受け止めさせていただきまして、今後この行革の取組が、先ほど会長からありましたように、行革と言いましてもやはり削減ありきのものではありません。やはりメリハリをつけて、こういったところに重点的に配分していくとか、こういったところを削減していくとか、そういったメリハリの部分をしっかり自分たちで見極めまして、今後進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>いろいろ御意見いただきながら進めていきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。</p>
事 務 局	<p>以上で令和3年度江田島市行財政改革審議会を終了いたします。</p> <p>委員の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。</p>